

# 障害者の芸術活動を支えるネットワークの構築について

【担当省庁】厚生労働省

## 「きょうと障害者文化芸術推進機構」の「障害者文化芸術活動支援事業」への採択

- ◆ 京都府では、今年度「障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らせる京都づくり条例」を制定し、オール京都体制で障害者の社会参加を支援していくこととしている。

平成 26 年度は、障害者の個性を活かす芸術・文化活動を支援する「京都にとっておきの芸術祭」が 20 回目の節目の年でもあることから、美術館、大学、事業所、学生、アーティスト等で構成する「きょうと障害者文化芸術推進機構（仮称）」を設立したいと考えているため、「障害者文化芸術活動支援事業」の予算を確保していただくとともに、京都府の事業を採択していただきたい。

### <厚生労働省の概算要求>

#### ◎障害者文化芸術活動支援事業 2.6 億円（新規）

芸術活動に取り組む障害者への支援、関係者のネットワーク構築、優れた芸術活動の展示等を推進するため、障害者の芸術活動支援のモデル事業等を実施する。

### 現状・課題等

#### ◎ 障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らせる京都づくり条例の制定

##### （現状）

- ・ 平成 26 年 2 月議会に、条例を提出予定
- ・ この条例の大きな特徴の一つが、「障害者の文化・芸術活動の推進」



##### （平成 26 年度の取組）

- ・ この条例を強力に推進するための柱として、「障害者芸術の創造・発信ネットワーク推進機構」を構築



条例と障害者芸術がタイアップした先進的な取組

◎ 京都とっておきの芸術祭の開催

(現状)

- ・ 京都府では、これまで 19 回にわたり「京都とっておきの芸術祭」を開催
- ・ 昨年度は、過去最高となる 636 点の作品出品があり、障害者の個性を活かし、社会参加の場として大きな役割を果たしている



(平成 26 年度の取組)

- ・ 平成 26 年度は 20 回目という節目の年
- ・ そのため、従来の公募展に加えて、更に発展的な事業展開ができるよう、府内にある様々な「人・財」(美術館、大学、事業所、学生、アーティスト)による「ネットワーク」を構築する予定

⇒ 地域資源を巻き込んだ先駆的な取組として事業化  
(事業例)

- ・ 京都文化博物館に常設展示スペースを設置
- ・ 金融機関窓口等に展示コーナーを設置
- ・ 障害者と子どもとのコラボ (ダンス、音楽)

【京都府の担当部局】

健康福祉部 障害者支援課 075-414-4611